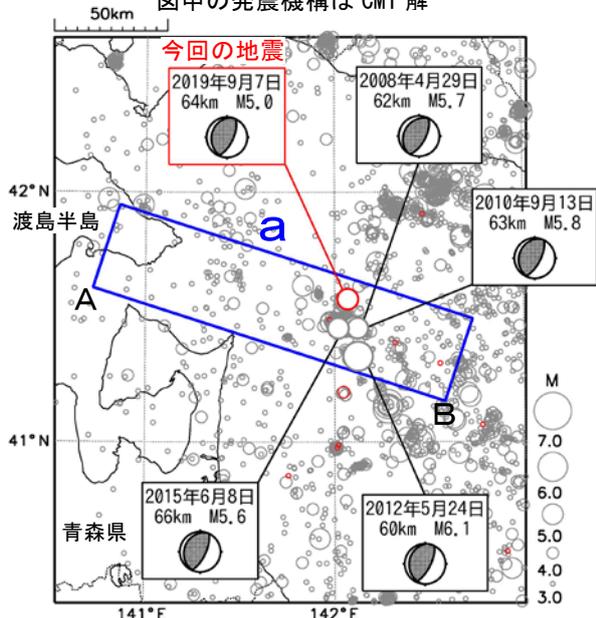
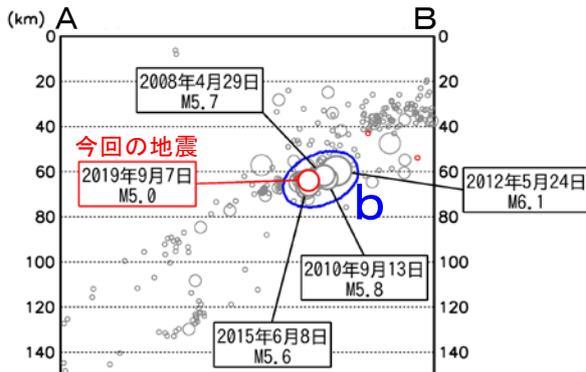


9月7日 青森県東方沖の地震

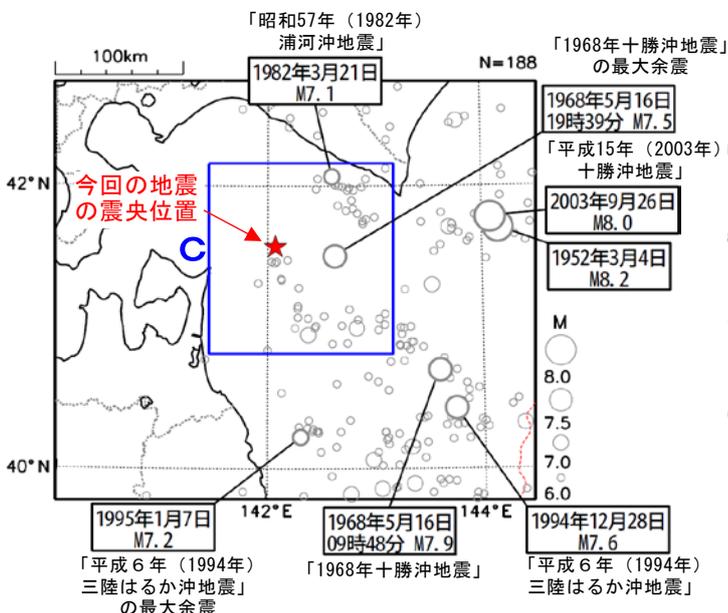
震央分布図
 (1997年10月1日～2019年9月30日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2019年9月の地震を○で表示
 図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年9月30日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



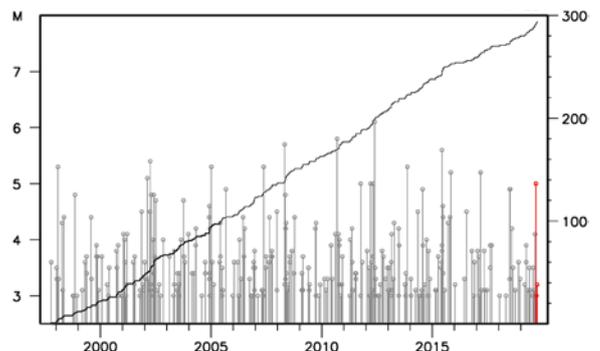
情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

2019年9月7日18時35分に青森県東方沖の深さ64kmで $M 5.0$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。このうち、2012年5月24日に発生した $M 6.1$ の地震 (最大震度5強) では、非住家建物19カ所でガラス破損などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 7.0$ 以上の地震が4回発生している。このうち、1968年5月16日に発生した $M 7.5$ の地震は、「1968年十勝沖地震」 ($M 7.9$ 、最大震度5) の最大余震である。「1968年十勝沖地震」では、青森県八戸で238cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。また、領域c内では他に、「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 ($M 7.1$ 、最大震度6) が発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

